

逸品館 HIGH-END AUDIO FAIR 2015 報告(2015.1.23)

大阪南船場ハートンホテルで開催された、逸品館主催の HIGH-END AUDIO FAIR 2015 に行ってきました。以下はその報告です。

このフェアは3日間にわたって開催され、プログラムと開催の主旨はネット上で公開されています。

<http://ippinkan.jp/high-end-audio-fair-2015>

主催者側が「Planner's Choice」でデモンストレーションを行う場と、聴衆の要望に応じて行う「Customer's Choice」でデモンストレーションを行う場があつて、従来のメーカーやディーラーのお仕着せでないプログラムで進行するというのが特徴です。一例として、下記の写真に見られるとおり通常のフェアでは見られない組み合わせのハイエンド機器がずらりと顔を揃えていました。これらを自由に組み合わせて聴けるということでハイエンド指向のユーザーには良い機会と言えます。通例、こういったフェアではセッティングが間に合わせで、開場しても調整が行われていたりするものですが、今回はセッティングが綿密に行われ、デモの進行もスムーズで、スタッフの対応も積極的でした。



上掲の写真はライラックの間のセッティングです。最初に入ったときは TAD が切れ味の良い音が鳴っていましたが、好みではないということで次の間に移りました。2度目に入ると手前のオーディオプロの小型のスピーカーがサブウーファーとセットで鳴らされており、サブウーファーの効能の説明もあり、無伴奏のバイオリンがかなりの水準の音を聴かせてくれました。

フリージアの間ではフォーカルのスピーカーがグランディオオーソでフルセットで鳴らされており、いかにもハイエンドと言う印象でした。エリカの間ではクリプトンのスピーカーが鳴らされていましたが、格別の印象はなく、セロリの間ではずらりと高級ヘッドフォンとヘッドフォンアンプがありましたが、聴きませんでした。デージーの間では、ソナースファベールの OLIPILCA3 が静かになっていましたが、大変好ましく感じま

した。ヒメジオンの間では **QUAD** の **ESL-2812** で **Jazz** のアナログが鳴っていましたので、それをしばらく聴いてからクラシックの盤をかけてもらいましたが、少し期待を裏切られました。 **EAR** のアンプとの相性の問題ではないかと思います。



こういったハイエンドを聴く意味は現在の最高水準の音がどういうものか参考にするため、現在主に聴いているアナログや **DSD** をどのように持っていくか参考にするためです。音として好ましかったのはソナーズファベールで、もう一度じっくり聴いてみたいと思ったのはオーディオプロの小型のスピーカーでカタログから察するに **IMAGE11 KAI2** のようで、とても価格が 4 万円台のものとは思えませんでした。 **DSD** の再生に行き当たらなかったのが残念でした。